

その80「本年度2年生修学旅行延期」（1/18：月）

2月17日～19日に、2年生で計画しておりました修学旅行は、次年度3年生での実施に延期します。18日付で2年生の保護者の方々には文書でお知らせしました。遅くなりましたが本文をもって1、3年生の保護者の皆様にもお伝えいたします。

長崎市内の小中学校や県立学校でも1、2月中に予定していたものは中止となっています。県内の他市町の学校でも、本年度、当初の実施期日から1、2月に変更した修学旅行は中止または延期したと聞いています。

次年度1学期中に新2年生（現1年生）と新3年生（現2年生）の修学旅行を計画しています。コロナの影響を受けず、全員に楽しい思い出ができる修学旅行になることを願っています。

その81「NHKあさイチ…お詫び」（1/22：金）

標記番組で清塚信也さんと本校の校歌作曲について話題になるとお知らせしたのですが、全く触れられることがなく残念でした。リアルタイムで番組をずっと視聴した保護者の方もいたのではないのでしょうか。申し訳ございませんでした。一月月上旬にNHKから電話で資料と情報提供を依頼され、メールや郵送で写真を送ったり、学校の様子を伝えたりと対応していました。NHKの担当者から、手紙で取材への協力のお礼と併せて取材内容が放送で使用することができなかったことについて、お詫びの手紙が届きました。

その82「オンライン遠隔交流授業（2年生英語）」（1/26：火）

「英語でコミュニケーション」と「ICT活用」を目的に、福井県おおい町の名田庄中学校2年生（22名）と交流を行いました。生徒による進行で、それぞれの県や町、学校を英語で紹介し、さらに、英語で質問をして、その答えも英語で返すといった、終始英会話による交流です。東彼杵中からの紹介内容は、2年生が総合的な学習の時間に取り組んだ「町おこし学習」をもとに、東彼杵町の景色や特産物を中心に、あの有名女優の母校であることや本校の校歌はあの有名音楽家が作曲したことなどを英語で説明しました。

この授業では、英語という言葉を使ってのコミュニケーションとICTを使ってのコミュニケーション、異文化のコミュニケーションの三つの側面がありました。

授業で学んだ知識と技術を使って、情報を正しく伝えることができたかどうかは、相手が返してくれた言葉で判断しなければなりません。日本語を使わず、英語だけで対話しなければならない状況から、生徒たちはスピーカーから出てくる音声に必死に耳を傾けていました。

インターネット回線に映像と音声をのせて、800km離れた福井県の学校の生徒と画面を通してリアルタイムで対話をしていることに最初は実感がわきませんでした。しかし、同時に笑ったり、手を振り返してくれたりする様子から、知り合えるはずのなかった人たちと技術によって繋がることができると思いました。

名田庄中学校からの映像には雪だるまや、町のマスコットキャラクターとイベント、特産品のジネンジョと漬物などが紹介されました。生徒たちは、自分たちが東彼杵のお茶や鯨文化を誇りに思っているのと同じように、それぞれの地域に誇れる文化があることを理解したと思います。

今回を機に、今後も名田庄中学校とは定期的に交流授業を実施していく計画です。また、交流の相手をより遠い地域に広げていきたいと考えています。ICTを活用した学力向上に取り組んでいきます。



首都圏での緊急事態宣言が出されて3週間が経ちます。県内の感染者数も地域ごとの変動があり、予断を許しません。週末を迎えますが、子どもたちを含めご家族の方も「不要不急の外出」を避け、引き続き感染予防に努めていただきたいと思います。また、本人及びご家族の方に発熱等の風邪症状がある場合には、登校を控え病院での受診をお願いいたします。

来週は3年生の公立高校前期選抜が行われます。受検する皆さん。気持ちをととのえて頑張ってください。